

次に、議席12番、内海和子君。

〔12番 内海和子君登壇〕

○12番（内海和子君） 12番、内海和子でございます。議長のお許しをいただきましたので、質問させていただきます。

例年になく雨が多い異常気象の梅雨となっております。当町では、洪水が心配される場所ですが、幸いにも何とかしのげているところを見ますと、本当に災害の少ない地域と思います。この地の利を生かして、橋本町政には郷土愛豊かな町政執行を願うところでございます。戦後69年間の日本の平和な状況を考えると、この平和を未来の子供たちのためにつなげていけるよう努力していくのが私たち政治に携わる者としての使命ではないでしょうか。新体制となった町政のますますの活性化のために質問させていただきます。

まずは、男女共同参画についてです。この問題は、意識の問題であり、各部門に関係がある問題なので、効果的な施策とするには適切な担当部署にする必要があるのではないかと。男女共同参画事業を進展させるために改革はできないのかということ。ご承知のように、国で男女共同参画社会基本法ができたのは1999年6月のことです。あれから15年目となるわけですが、末端の住民レベルでは、まだまだ男女共同参画って何という状況です。各県での条例制定はなされているものの、市町村単位ではまだ制定していない市町村もあります。当町では、ようやく条例づくりへの道筋ができ、橋本町長はさきの3月議会での私の質問に対して、2年以内には条例を制定したい旨、お答えになっています。しかしながら、その研究や手続となるとなかなか迅速にはいかないようです。また、境町の女性の審議会や委員会等への参画率はいまだに15.3%、職員の管理職数に占める女性の割合も8.3%という状況で、法律制定後14年たった今も、当町での女性の参画状況は進んでいるとは思えません。政府では、「202030」という数字であらわしているように、2020年までには女性の参画率を30%にしようとしています。特に経済政策の一環として、女性が働きやすい環境を整えるという意味で、子育て支援や福祉政策の予算をふやしています。人口減の時代になって初めて女性の労働力が必要とされるということも、何か釈然としないのですが、男女共同参画や福祉政策で世界のトップに行く北欧の国々では、もともとは人口減で女性の労働力が必要になったからとも聞きます。本当の意味で男女平等になるのなら、今回の政府の方針は歓迎です。女性たちも意欲的になることでしょう。こうした国の予算をとれるような、町としての企画書や事業計画を作成していくのも行政の役割と考えます。また、DV、ドメスティック・バイオレンスや家庭でのトラブルなどの女性特有の困り事に対しても専門の知識が必要です。各課と連携をとり、しかも専門の知識も必要となれば、1係では到底把握し切れません。そして何よりも、国からの施策であるこの男女共同参画理念を住民へ知らせなくてはならない使命が行政にはあるはず。です。

このように男女共同参画の問題は、各部門、多岐にわたります。また、基本的な施策の理念は、長い間の社会的通念や慣習で、誰もがすり込まれているというところがありますので、抽象的な意識の問題ということになります。こうした複雑多岐な問題には、どうしても専任の職員が必要だと思います。少な

くとも庁舎内の職員の意識を高めることや、管理職や審議会等の女性の割合を高めるためには、女性課なり女性室なりを創設して、専任の職員に研修してもらい、男女共同参画の理念を庁舎内はもとより、住民に啓蒙していく必要があります。また、現在この男女共同参画係の所管事務を担当しているまちおこし推進室には、女性職員は皆無です。よりよい推進策を作成していくには、ここにこそ女性を入れるべきではありませんか。まさに男女共同参画の見本となる課でもあります。女性職員のステップアップの場ともなりましょう。

以上申し上げた点から、さらなる男女共同参画事業を推進するために、女性課なり女性室なりの設置が必要と考えますが、いかがでしょうか、お考えをお聞きます。

次に、道の駅についてです。道の駅は、開設当初から船着き場への道や旧キンカ堂へのアクセスは困難であった。一部県の施設でもあるので難しい面はあると思うが、観光客などの集客力を高めるために、改築はできないのかということです。利根川の境大橋を渡ると境町です。道の駅は、まさに境町の玄関口です。8月からは一六商事による娯楽施設も開設されます。キンカ堂がなくなってから長らく寂しかった玄関口も、これで明るくなるものと思われま。しかしながら、この施設へ道の駅から行ったり、また施設側から道の駅へ寄ったりすることは、今の状況での行き来は結構困難です。現在の境町の道の駅は、野菜も多く、お土産品も以前よりはずっと多くなっています。近くの住民たちからは、結構評判がよく、野菜はそこで買うという方もいます。また、軽食コーナーのおそばはとてもおいしいと境町以外の方からも食べに来たと聞くこともあります。現在はインターネットの時代であり、遠くてもよいもの、おいしいものの特徴あるイベントなどがあれば立ち寄る時代なのです。また、さかい丸という高瀬舟が利根川で待っています。道の駅からその船着き場へ容易に行くことができれば、本来の渡し船の意義もあるというものです。さわやかな風を受けての川遊びは、川のまち境町にふさわしい観光資源ではありませんか。私は、都会から来たものですから、この雄大な利根川の流れにはいつも癒やされています。しかしながら、この渡し船への道も、また堤防への散歩道も閉ざされているというのが現状です。利根川べりの散歩のついでに道の駅に寄りたくても寄れない。あるいは道の駅に立ち寄った方が船に乗りたくてもアクセスがないというのでは、何とも観光資源が泣いてしまうというものです。道の駅は、当初はトイレスペースということで始まったものと思いますが、トイレは立派なのですが、そのついでに観光まで発展させていないというのはまことに残念です。最近では、五霞町や古河市にも道の駅ができましたので、見劣りがしてしまうのかもしれませんが、ぜひ使い勝手をよくしてもらいたいと思います。また、せっかく地元野菜が買えるスペースなので、もっと売り場面積を広くして、町の特産品販売や町の観光案内ができるぐらいに広く広げてもらいたいと思います。

先日、道の駅ではありませんが、羽生のパーキングエリアに行ってみました。境の道の駅よりは少しスペースはありますが、テレビドラマのキャラクターをメインに、物語の中での食べ物やお土産品がびっしりと並べられていて、たかがトイレといいながら大変なにぎわいを見せていました。物語に合わせて江戸の町を模した風情も何かほっとするものがあり、お年寄りや家族連れ、若いカップルなど、多様

な人々が集まっていました。境町は昔から河岸の町として栄えたところですので、そうした町の物語をつくっていくことも大事なではありませんか。橋本町長体制になって、先ごろ観光協会会長も酒井英一氏から野口富太郎氏になりました。ぜひ若い感覚で、境町らしい道の駅のリニューアルをお願いしたいと思います。どのようなお考えがあるのか、お聞きいたします。

以上、2項目に誠実なお答えを期待いたします。

○議長（関 稔君） ただいまの質問の1項目めに対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

〔町長 橋本正裕君登壇〕

○町長（橋本正裕君） それでは、内海議員さんの質問にお答えする前に、先ほど議長、名前がわかりましたので、田山議員さんの質問の中で、「平和の文化と子ども展」ということで訂正をお願いをしたいということと、14、15日でしたので、それもちよっと訂正をお願いしたいと思います。

それでは、内海議員さんのご質問にお答えをしたいと思います。男女共同参画について、発展させるために担当部署を設置する必要があるのではないかというご質問ですが、やはり必要だと考えておりますので、7月1日の機構改革の中で、男女共同関係の室なり課なりを設置をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いしたいと思います。

2項目め、答えましょうか。1項目め、再質問ありますか。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

内海和子君。

○12番（内海和子君） そうあっさりとお答えになってしまうとあれなのですが、実は機構改革ということで期待はしております。多分その中で少し改革されて、今おっしゃったように課なり室なり検討していただけるのではないかなと思っておりますので、ぜひそれは進めていただきたいなと思います。

そして、もう一つ、つけ加えてお聞きいたしますのは、そのもし課とかができた場合、今ある男女共同参画の推進委員会もその管轄になると思うのですけれども、その推進委員会の予算というものは少し充実させていただけないのかということなのですけれども、いかがでしょうか。

そして、つけ加えて言うならば、そういった予算が結構、先ほども申し上げましたように、安倍首相の肝いりで女性の優遇策がいろいろありますので、ことしも多分あったと思うのです。ですけれども、なかなか、課ごとにありますので、例えばそういうものをとっていただければいろんな予算がついてくるのではないかと思います。例えば、これは文科省の男女共同参画推進関係の予算なのですけれども、これでも女子高校生の理系進路選択支援プログラムで、例えば1,500万ついて、これは全額ですけれども。それからあと、同じように男女共同参画社会の実現の加速に向けた学習機会の充実事業などにも1,300万、そしてまたこの間は、多分県の「ひばり」というのものにも出ていたと思いますけれども、その中でも1,000万近くですか、載っていたと思います。なかなかそういうものを私たちが見つけるのは大変ですので、例えば課とか係ができましたら、そういったものも含めて予算をとることも、予算といいま

すか、補助金なり交付金とることができると思いますので、そういうものを加味いたしまして、男女共同参画の推進委員会の、より充実を図るために予算をふやしていただきたい。現在は5万円なのです。これでは本当に会議費しかできませんので、研修も何もできないと思います。それをお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（関 稔君） ただいまの質問に対し、答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） 内海議員さんのご質問にお答えを申し上げます。

予算というのは、皆さん議員さんですからご承知のとおり、目的を持って、例えば男女共同推進委員会の中でこういうことがやりたくて計画を立てて、総会がございますよね。その中で計画を立てて、これだけのお金が必要だからとして要望してくるならわかりますが、ただ単に5万円しかないから増額してくれというような言い方では、申しわけございませんが、計画性がないというふうに私は考えます。ですので、きちんと男女共同参画委員会の中で、こういうことに使う、だからこういうふうに活性化するのだと、そういうものをつくっていただいて、町のほうへ要望していただきたいと思いますので、よろしくご検討をお願い申し上げます。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

内海和子君。

○12番（内海和子君） それはよくわかりましたので、推進委員会のほうに諮って、そのようにしていきたいなど。なぜかといいますと、予算がないために結構いろんな講演者の方を呼びたくても呼べないとか、去年はとても職員の方がよくやってくださったので、ほんのその中でちゃんとしたパンフレットまでできた次第なのですけれども、なかなかそういうのも難しいと思いますので、今ちょっとお聞きしたわけです。では、それは期待いたしまして、お願いしたいと思います。

○議長（関 稔君） これで1項目に対する質問は終わります。

次に、2項目めに対する答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

[町長 橋本正裕君登壇]

○町長（橋本正裕君） それでは、道の駅についての内海議員さんのご質問にお答えをいたします。

現在道の駅のほうは、開設当初から県内で2番目の道の駅ということで設置をされ、建設費につきましては町の持ち出しなしで設置をされております。そして、例年の売り上げについては、近年五霞町だとか、それから古河市だとか、下野の道の駅を見ていただくと、ほかの道の駅のほうがよく感じますが、実際には売り上げは2億弱ありまして、黒字化を継続をしているということでもありますので、逆に議員さん方にもご承知をしていただきたいのは、うちの道の駅のほうが、道の駅が悪く見えるというか、よく見えないかもしれない。でも、ここから先こうしたらいいのではないかと、そのようなことをまず念頭に置いて考えていただけるといいのではないのかなと思っております。でないと、我が町の道の駅

ですから、そこをやっぱり愛着を持っていただきたいというのがまず1つあります。

そのような中で答弁をさせていただきますと、実際に船着き場へのアクセスというのはないのが現状です。例えば、354を渡ることができるのかとか、そういったことも検討しなくてはならないと思っておりますし、1つは8月の9日に一六商事さんのほうのキンカ堂跡地のほうがオープンをいたします。そのような中で、観光協会さんから要望されているのは、道の駅からあちら側へ渡って、そうすると横断歩道を渡って、もうそのまま向こう側へ行けないのです、キンカ堂側へ。ですので、そこへ何とか橋をかけてくれとか、そこからアクセスする道路をつくってくれないかと。そうすれば、あちら側と道の駅が相互に交流ができるというか、買い物ができたりするようになるので、ぜひお金はそんなにかからないでそういうのを検討していただけないかという要望も受けておりますので、こちらについては担当課で検討をしていきたいと思っております。ただ、オープンに間に合うか、間に合わないかという意味では、8月の9日でありますので、ちょっと時期的には間に合わないと思うのですが、そういう検討もさせていただきますかと思っております。

また、先ほどありました中の展示スペース、これは県の持ち物であります。そして、前木村議員さんからもありましたとおり、トイレの問題、トイレがやはり汚いとか、やはりトイレをもっと使い勝手よくしてほしいとか、そういう意見もございましたので、こちらは道の駅の駅長がおりますので、これは観光協会の会長が兼務をしておりますので、道の駅のほうは再度、五霞にも古河にも負けないような施設になるような、そういうリニューアルプランを再度考えて、もう少し人が来やすい、そして使いやすい、そして売り上げも上がるような、そういう方式を今検討させていただいているところでありますので、こちらもそういったプランができ上がり次第、議会の皆さんにご報告を申し上げたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。ですので、今すぐ改築でこうしますということは言えませんが、やる方向で検討してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ございますか。

内海和子君。

○12番（内海和子君） そうしたつながりをやっぱりもっとお互いに、ウイン・ウインの関係で発展したらいいなという思いで聞いております。

それで、私先ほども申し上げたと思えますけれども、キャラクターというのは、この「鬼平犯科帳」の長谷川平蔵さんなのですけれども、これなのですね。先ほど言った羽生の道の駅ではないですね、サービスエリアですね。パーキングエリアですね、PAですね。パーキングエリアなのですけれども、これはなかなかいいパンフレットでございまして、こういった江戸を模した風情の建物で、ちょうどあそこの境町のほうは、やっぱりこういった和風にできておりますので、ぜひこれ利用して、こんなふうに、そしてまた中はやっぱりそれぞれお店がありまして、通路の上が空になっているのです。要するに外という感じで、両側にお店があって、それも木のつくりのお店で、もうグッズがいっぱい本当に、女性なんかもう本当に、私もゆっくり見たかったぐらい本当に素晴らしいのですけれども、例えばこういうの

を参考にさせていただいて、これは強烈な鬼平というキャラクターがいますのであれですが、この方が好きなシャモ鍋とか、あるいはおそばとかというものが実際にあるということで、大変本当ににぎわっておりました。ですから、ちょっとそういったことも含めて、参考にさせていただいて、直せるところでいいですけども、きのうも私ちょっと行ってみましたら、少し何かスペースが、もうちょっと整理よくできれば買いやすくなるし、それから品数はすごくいっぱいありましたので、いいなと思いましたよ、本当に。ですから、今度私もあそこで買おうかなと思っているのですけれども、そのぐらいに、ただ周りのあいている敷地ですか、それもちょうとあるような気がいたしましたので、そのところもちょうと利用できれば何かできるかなと。昔はあそこでフリーマーケットなんかやったのです。私たちも出店して、ちょっと結構もうけたのです。もうけたということではないのですけれども、収入が上がったのですけれども。だから、つくり方次第で楽しい場所に、もっと楽しい場所になると思っていますので、ぜひその辺のところを観光協会長さんとよろしくお願ひしたいなと思います。

それから、もう一点、こちらが遊興施設のほうには行けるようにするとはおっしゃいましたけれども、土手側のほうに上がれるのはいかがなのでしょう。あれが本当に欲しいのです。そうすると、向こうに渡し船があって、あそこでちょっと乗ってというのができますので、これは最初から私思っていたのですけれども、何かそこをちょっとできないかなと。あそこで私もよく散歩するものですから、散歩のついでに本当に道の駅で用を足したいなというふうな、そういうのができにくい。ですから、何かちょっとそういうものを、もうちょっと考えて、従業員の駐車場なんかもあそこなりますし、そういうのとか、駐輪場なんかも何かやたら広いかなんていう感じもしてしまうのですけれども、ちょっとそんなことも含めて、そちらのほうに、土手側のほうに行く道の案はいかがなものですかということをお聞かせします。

○議長（関 稔君） それでは、内海議員の質問に対し、答弁を求めます。

町長、橋本正裕君。

○町長（橋本正裕君） 内海議員さんの質問にお答えをいたします。

基本的には、川との連携とか、そういったことだと思っておりますけれども、ご承知のとおり、ああいうところに歩道橋つきのものをかけるのには5,000万ぐらいのお金がかかってまいりますので、実際にそれが本当に一番いいのか、それとも先ほど内海議員さんが言われたように、職員の駐車場がありますよね。あちらへレストランスペースを大きくとって、観光バスが寄ったときに、実際に大型の客が寄れるようにしたほうがいいのか、さまざまな方策があると思うのです。実際に境の道の駅で聞かれることは、50人で来ても食べる場所がないと。なので、違う道の駅に行ってしまう。そういうことも結構聞かれるものですから、そういった部分もやらなくてはならない。そして、ちょうど道の駅から駐車場へ入って行って、トンネルをくぐった向こう側にも敷地がございます。ちょうど橋の向こう側の敷地です。そちらは一応県の持ち物になっておまして、道路という持ち物なのですが、これも県のほうと協議をして、使ってもいいという話になっておりますので、そういった部分もこれから何になるか検討中ではござい

ますが、やはりそういった意味では道の駅の充実というものを図っていきたいと思っておりますので、全体として考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（関 稔君） ただいまの答弁に対し、質問ありますか。

内海和子君。

○12番（内海和子君） それでは、ぜひいい方向にしていいただければなと思いますので、よろしくお願いいたします。ちょっと時間が余ってしまって済みませんが、申しわけありません。これで私、終わります。

○議長（関 稔君） これで内海和子君の一般質問を終わります。